

「農業ビジネスに新しい風を」

～農山村女性起業家の取り組みに学ぶ～

東北の農業は、昨年3月に発生した東日本大震災により大きな被害を受けました。現在、地域は一丸となって復旧・復興に取り組んでいます。こうしたなか、農山村女性起業家のさまざまな取り組みが地域の元気となり、農業ビジネスに新しい風を送り込んでいます。そこで、今回、地域で実績をあげておられる女性起業家（取り組み内容は「東北発！女性起業家28のストーリー」（カナリア書房）に紹介されています）をお招きし、東北が元気になるための方策を考えたいと思います。

◆日 時：平成24年11月6日（火）13:30～16:30（開場13:00）

◆会 場：青森県観光物産館 アスパム 5階 「あすなろ」

（青森市安方1-1-40 電話017-735-5311）

◆スケジュール

1 講演

テーマ：「農山村女性起業家に期待すること」

講師：太田 実氏（道の駅 上品の郷（じょうほんのさと） 駅長
/（株）かほく・上品の郷 代表取締役）

◇太田実氏は、元・宮城県河北町長。道の駅「上品の郷」は宮城県石巻市に位置し、平成17年オープン。本年、プロが選ぶ道の駅の人気NO.1の評価を得た。

2 パネルディスカッション

テーマ：「農山村女性パワーが東北の元気をつくりだす」

パネリスト 佐藤 芳子氏（りんご工房 代表・青森県弘前市）
◇りんごによる染め物とジャムで起業。

若生 和江氏（やまんば工房 代表・岩手県江刺市）
◇地元の旬の食材をふんだんに使った「やまんば汁」で起業。

アドバイザー 太田 実氏（道の駅 上品の郷 駅長
/（株）かほく・上品の郷 代表取締役）

コーディネーター 志賀 秀一氏（（株）東北地域環境研究室 代表）

◆定員：先着80名様（参加費：無料）

◆主催：公益財団法人 東北活性化研究センター

■ お申込は下記にご記入のうえ、10月31日（水）までにFAXにてお送りください。

お申込・問い合わせ先：（株）東北地域環境研究室（担当：島谷）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-1 河西ビル 電話 022-212-1105

※切り取らずこのままお送りください。

FAX 022-212-1106

お名前	
会社、団体名・役職 （お勤めの方）	
ご住所	
電話番号	

※ご記入いただいた情報は、本事業以外には使用いたしません。

○講演者プロフィール

・講師：太田 実氏

(道の駅 上品の郷 駅長／(株)かほく・上品の郷 代表取締役 ／宮城県石巻市)

全国農協青年連盟委員長、旧河北町議会議員を3期務めたあと、平成元年から16年まで旧河北町長を4期務める。4期目に道の駅構想にかかわり、平成17年、道の駅「上品の郷」設立。道の駅の駅長と(株)かほく・上品の郷 代表取締役に就任、現在に至る。「直ぐやる、必ずやる、できるまでやる」をモットーに、「地元のリピーター客を給料、観光客をボーナス」と考えた経営を徹底して行い、創立7年で「日本一の道の駅」と称される地域の拠点をつくり上げる。

・パネリスト：佐藤 芳子氏（りんご工房 代表 ／青森県弘前市）

1989年頃から農閑期を利用して、りんごジャム作りを手がける。仲間と取り組んだ桜染めをきっかけに、りんごの剪定作業で生じた廃材を利用した草木染めに取り組む始める。特にりんごの草木染めは魅力あるお土産品にするために京都まで出向き、技術を学ぶ。2001年に「りんご工房」を立ち上げ、りんごジャム、りんごの草木染めの販売を行う一方、りんご草木染め体験も行っている。また、りんごの草木染めを継承する後継者を育て、魅力ある工芸品として定着させるべく、取り組んでいる。

・パネリスト：若生 和江氏（やまんば工房 代表 ／岩手県江刺市）

2000年頃から地域の女性数名と本格的に漬物加工の勉強を始める。その後、弁当の仕出しの依頼を受けるようになる一方、「食べて元気になってもらえる事業がしたい」という思いもあり、2007年に「やまんば工房」を立ち上げる。同年、新郷土料理「やまんば汁」で食の匠の認定を受け、食育や料理教室の活動を行っている。また、2003年から岩手県環境アドバイザーとしての活動も行っており、環境学習の実践にも力を注いでいる。

・コーディネーター：志賀 秀一氏

(株)東北地域環境研究室 代表 ／宮城県仙台市)

北海道生まれ。1975年、北海道東北開発公庫（現・日本政策投資銀行）入庫。その後、観光施設「山寺風雅の国」常務取締役を経て、2001年から現職。観光を軸とした地域づくり、まちづくりに取り組んでいる。

主な公職は、宮城県みやぎ観光創造県民会議座長、大分県竹田市仙台事務所長、日本観光研究学会常務理事など。